暗きよ排水と併せ行う蹇地修正について

排水不良については様々な原因が考えられますが、そもそも水が集まりやすい地形(窪地)である場合が多く見られます。

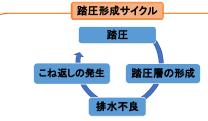
窪地を起因とする不良状況

- 降雨時や融雪時に表面水が集まってくるため排水不良になりやすい。
- 作業機械走行に支障を来すことから、作業時間の増加につながる。

窪地があるとどうなるか?



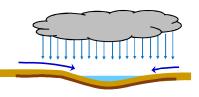
機械走行時に踏圧がかかりやすく、踏圧層 が形成されやすい



窪地は湿潤状態で機械作業が行われる頻度 が平坦部より多くなるため上記サイクルが 繰り返されてしまう

窪地を解消・緩和する工法の例

- ・周辺の表土を押して埋める
- ・暗きょ疎水材部分の残土を利用して埋める



踏圧層により表面水が浸透しづらくなった所に元々の地形要因による表面水の集中がかさなり、排水不良が発生する。



窪地を埋めることにより、排水不良の 原因を解消・緩和することができる。 また、走行性が改善されることにより 労力の低減が図られる。

暗きょ排水と併せ行うことが重要!

~ 表土が厚い場合

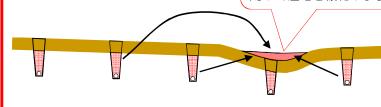
心土の土質が良質な場合

暗きょ排水工事で発生した残土を利用した部分的整備 (窪地修正)を行うことにより窪地を解消しよう!





暗きょ排水工事で発生した残 土(疎水材部分の土砂)を利 用して窪地を緩和します。



従来は暗きょ工事により発生した残土を耕地表面上へ営農の支障とならない程度に敷き均していましたが、この残土をほ場の低み(雨水滞水箇所)などに利用することにより、排水不良の原因を解消・緩和し、走行性の改善を図ります。

心土部分に レキや耕作に 支障となるような不良土が無い場合、暗きょ排水と併せて 行う事により暗きょの効果が よりいっそう高まることがわかってきました。